



千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒280 千葉市要町2番8号(動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 千葉 (22) 7207 番

92.1.16 No. 3523

一日乗務量は伸びているのに労働時間は1時間減 これ以上の労働強化は絶対許せない!

● 一日平均乗務キロ・労働時間の現改比較
(1月14日千葉支社提案)

	一日一人平均乗務キロ		一日一人平均労働時間	
	現	改	現	改
習志野運輸区	147.7	153.6	7:56	6:33
京葉運輸区	187.7	196.3	7:51	6:44
千葉運転区	172.7	180.0	7:27	6:28
銚子運転区	204.7	207.9	7:34	6:26
勝浦運転区	188.6	193.9	8:03	6:33
館山運転区	202.1	208.6	7:34	6:25
木更津支区	115.9	115.2	7:35	6:45
運転士合計	181.0	187.1	7:40	6:31

※ 今以上に乗務させられるにもかかわらず、7時間40分の労働時間が、6時間31分になってしまう! ——— これを見ても動乗勤改悪の恐るべき実態は明らかだ。

- ① 動乗勤改悪及び「時短」実施に伴う要員の見直し。
- ② 幕電佐倉派出の廃止。
- ③ 幕電構内及び仕業検査における限定免許の拡大。
- ④ 銚子運転区の指導員増。
- ⑤ 勝浦運転区一宮派出業務と駅構内業務の融合。
- ⑥ 千葉車掌区安房鴨川支区管理体制の見直し。



一月十四日、千葉支社は、九二・三ダイ改に関する運輸関係の労働条件の概要を提案した。(細部については十六日の予定) 今次ダイ改の運輸関係の「実施項目」は次のとおりである。
① 動乗勤改悪及び「時短」実施に伴う要員の見直し。
② 幕電佐倉派出の廃止。
③ 幕電構内及び仕業検査における限定免許の拡大。
④ 銚子運転区の指導員増。
⑤ 勝浦運転区一宮派出業務と駅構内業務の融合。
⑥ 千葉車掌区安房鴨川支区管理体制の見直し。

運輸関係の概要を提案(一月十四日) 東日本五万人体制に労働監獄化を粉碎しよう!

時短と称しながら 年間四千時間も業務増

一日平均乗務キロはのきなみ伸びているにもかかわらず、一日平均労働時間は、何と一時間九分が消費されて無くなってしまったのだ。乗務員の労働時間の限度(七時間十分)まで、毎日あと四九分の乗務を強制できるということだ。来年のダイ改になれば、さらに徹底した労働強化がのしかかることは目に見えている。
また要員的には、年間五日間の休日を増やし、かつ二二・五キロの増発があるにもかかわらず、▲四名だというのだ。「時短」などと称しながら、実は年間約四千

● 運転士の要員増減表 (変動のある区のみ)

箇所	現	改	増減	記事
京葉運輸区	74	72	▲2	
銚子運転区	90	91	+1	指導体制見直
勝浦運転区	60	58	▲2	
幕張電車区	37	36	▲1	限定免許導入(7月5日→6月6日)
支社合計	運転士要員 ▲4			

● 運輸関係増減総括表

職種	増減	記事
運転士	▲4	
車掌	+17	
車両職	▲6	幕張電車区(佐倉派出の廃止)
管理者	+1	千葉車掌区鴨川支区



1:30

二八名への不当解雇撤回
動労千葉総決起集会へ